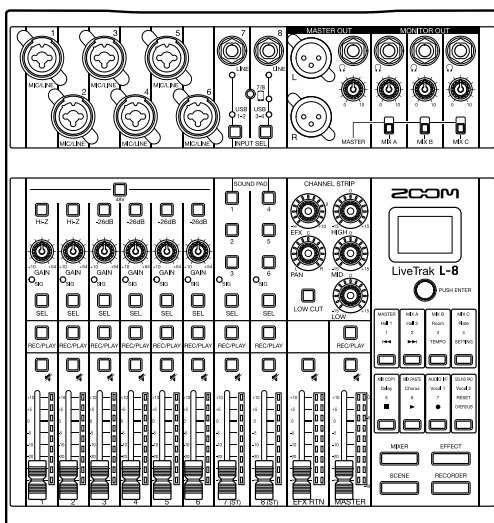


ZOOM®

L-8

LiveTrak



クイックガイド

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください。



オペレーションマニュアルは、ZOOM の WEB サイト (www.zoom.jp/docs/l-8) からダウンロードできます。

このページには、PDF 形式と ePub 形式のファイルがあります。

PDF は、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。

ePub は、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式で電子書籍リーダーで読むことができます。

© 2020 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

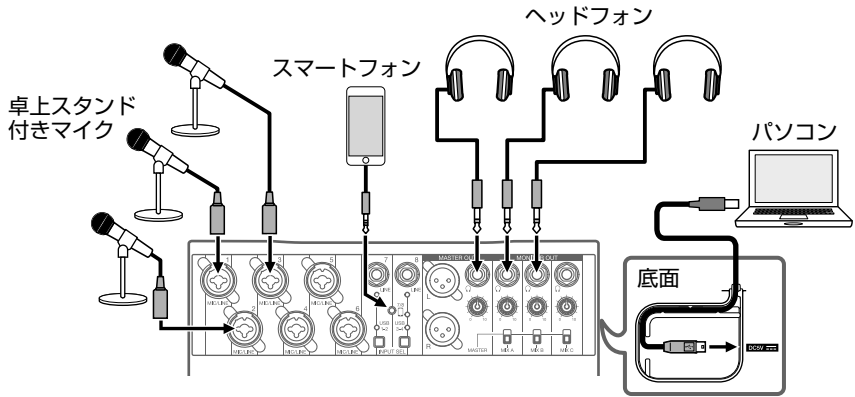
このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

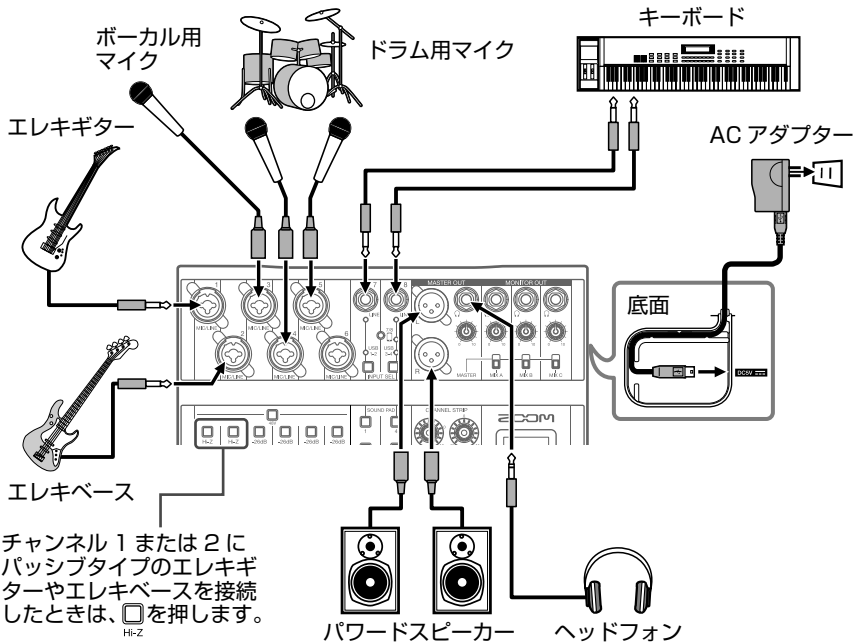
L-8 の概要

接続例

■ ポッドキャストिंग



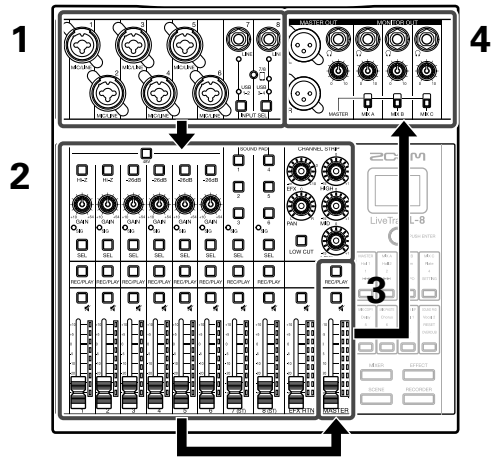
■ ライブPAシステム



信号の流れ

L-8 は、8チャンネルの入力を持ったデジタルミキサーです。音声は以下の矢印に沿って入力、処理、出力されます。

1. マイクや楽器を接続して音を入力します。
2. 各チャンネルの音質、音量を調節します。
3. 全体の音量を調節します。
4. スピーカーやヘッドフォンを接続して、音を出力します。

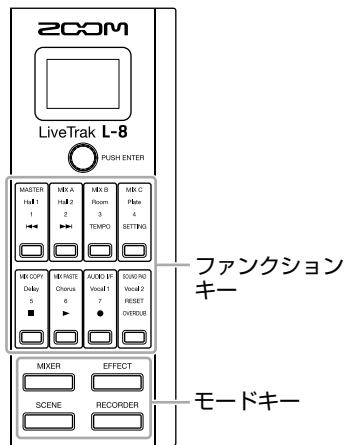


モードキーとファンクションキーについて

モードキーは、MIXER、EFFECT、SCENE、RECORDER から操作するモードを選択します。

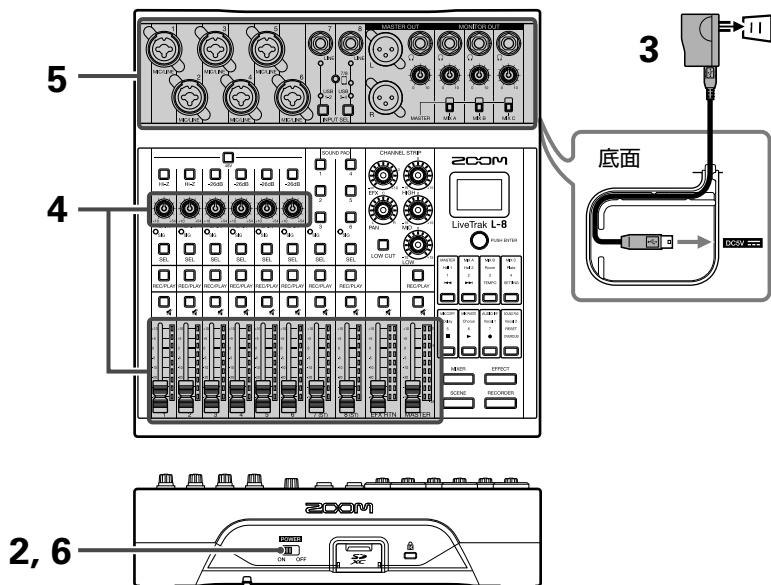
ファンクションキーは、選択したモードに合わせて役割が変わり、文字や記号が点灯して役割を示します。


- MIXER
[] : ミキサーの設定や、SOUND PADの設定をします。
- EFFECT
[] : エフェクトを選択して効果を調節します。
- SCENE
[] : ミキサー設定の保存／呼び出しをします。
- RECORDER
[] : SDカードへの録音／再生の実行や L-8 の設定の変更などをします。



電源の ON/OFF



電源を入れる





1. L-8 に接続する出力機器の電源が OFF になっていることを確認する
2.  が OFF になっていることを確認する
3. 専用 AC アダプター (AD-17) を使用してコンセントに接続する

HINT


L-8 は単三乾電池を使用して動作させることもできます。

4. すべての  とフェーダーを最小の位置に合わせる
5. 楽器、マイク、スピーカーなどを接続する
6.  を ON にする
7. L-8 に接続している出力機器の電源を ON にする

NOTE

- ・ コンデンサーマイクを使用する場合は、 をONにしてください。ファンタム電源非対応の機器を接続する場合は、 をOFFにしてください。
- ・ **L-8** は操作をしない状態で10時間が経過すると、自動的に電源が切れます。常に電源をONにしたい場合は、電源の自動OFF機能の設定を無効にする必要があります。設定方法はオペレーションマニュアルを参照してください。

電源を切る

1. **L-8** に接続している出力機器の音量を最小にする
2. **L-8** に接続している出力機器の電源を OFF にする
3.  を OFF にする

ON OFF

以下の画面が表示され、電源がOFFになります。

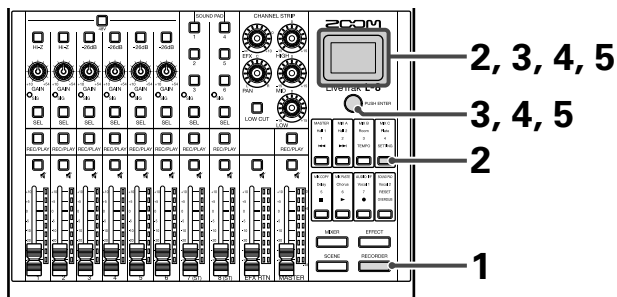


NOTE

電源OFF時に、現在のミキサーの設定はSDカード内のプロジェクトに保存されます。SDカードに保存できない場合は、**L-8** に保存されます。

日付／時刻を設定する

ご購入後、初めて電源をONにした場合は、日付／時刻の設定を行う必要があります。



1. **RECORDER** を押して点灯させる
2. **SETTING** を押して点灯させる
ディスプレイにSETTING画面が表示されます。
3. **SYSTEM > DATE/TIME** を選択する

カーソル移動: **PUSH ENTER** を回す

確定: **PUSH ENTER** を押す



4. 日付／時刻を設定する
カーソル移動／数値変更: **PUSH ENTER** を回す
項目選択／変更内容の確定: **PUSH ENTER** を押す

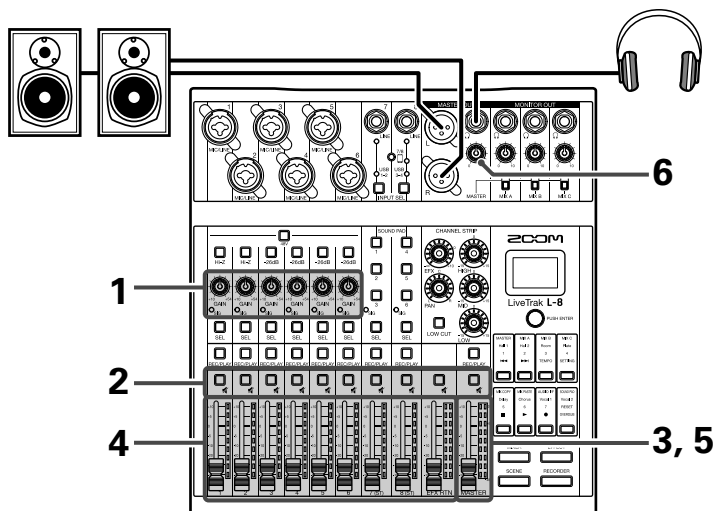



5. **PUSH ENTER** で **OK** を選択し、 **PUSH ENTER** を押す

HINT

一つ前の画面に戻るには **SETTING** を押します。


入力した音を出力機器から出す





1. 楽器やマイクで音を出しながら、入力信号を  で調節する

チャンネル7または8に接続した機器については、機器側で音量を調節してください。

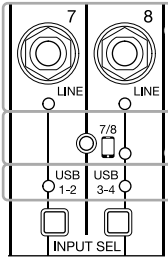
NOTE

 SIG が赤色に点灯しないように調節してください。

2. 音を出したいチャンネルと MASTER の  を OFF (消灯) にする
3. マスターフェーダーを「0」の位置に合わせる
4. 各チャンネルフェーダーで音量を調節する
5. マスターフェーダーで全体の音量を調節する
6.  でヘッドフォンの音量を調節する

チャンネル7、8の入力を切り替える

チャンネル7、8は以下の入力に対応しています。



LINE入力

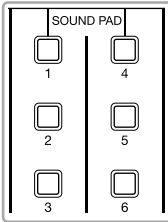
ラインレベル機器を接続する入力端子です。キーボードやオーディオ機器などを接続します。

スマートフォン入力(チャンネル8のみ)

スマートフォン入力はチャンネル8にステレオで入力されます。ポッドキャストにおいて、スマートフォンを接続して電話参加のゲストの音声を入力することもできます。4極ミニプラグのケーブルを使うことで、スマートフォンからの入力と同時に **L-8** でミックスした信号をスマートフォンに返します。この出力信号にはチャンネル8の音声は含まれないため、電話参加のゲストにエコーが発生することはありません。

USBオーディオリターン

USB1-2、USB3-4は、**L-8** をオーディオインターフェースとして接続したパソコンからの出力です。ポッドキャストやストリーミング中にパソコンからBGMを流すことができます。



SOUND PAD

SOUND PADはオーディオファイル(WAVフォーマット)を割り当て、押されるとそのファイルを再生するパッドです。各パッドは、レベル、再生方法を設定することができます。工場出荷時には13個のサウンドが内蔵されています。

■ 入力を切り替える

1. チャンネル7または8の  を押して入力を選択する

選択されている入力に対応したLEDが点灯します。

- チャンネル7

LINE入力 → USB 1-2 → SOUND PAD 1-3

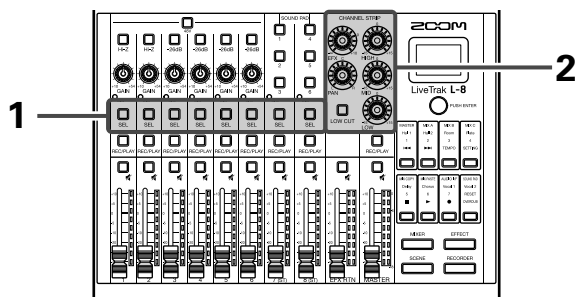
- チャンネル8


LINE入力 → スマートフォン入力 → USB3-4 → SOUND PAD 4-6

NOTE

チャンネル8のスマートフォン入力とチャンネル7のLINE入力を同時に選択することはできません。その場合はチャンネル7のLINEのインジケーターが点滅します。

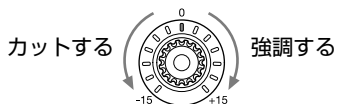
音質や定位を調節する



1. 音質や定位を調節したいチャンネルの  を押して、点灯させる
2. チャンネルストリップの各ノブ／キーを操作して音質、定位を調節する

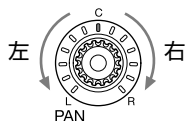
■ 音質を調節する:

帯域別のイコライザー（HIGH、MID、LOW）で音質を調整します。



■ 定位を調節する:

ステレオ再生における位置(左右)を調節します。

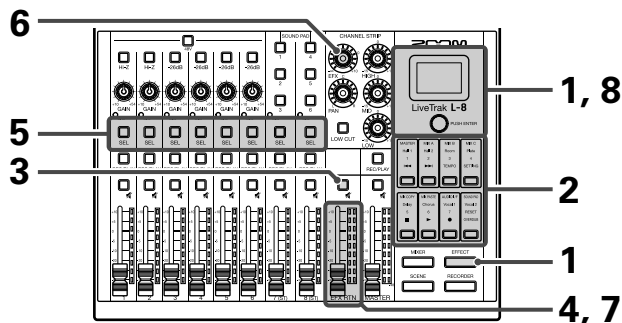


HINT

ノブ／キーについての詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。

内蔵エフェクトを使う

L-8には1系統、8タイプのセンドリターンエフェクトが搭載されています。



1. を押して点灯させる

ディスプレイに現在選択されているエフェクトタイプが表示されます。

2. を押してエフェクトを選択する



選択されたエフェクトタイプのキーが点灯します。

3. EFX RTNの をOFF（消灯）にする

4. EFX RTNのフェーダーを「0」の位置に合わせる

5. エフェクトをかけたいチャンネルの を押して、点灯させる

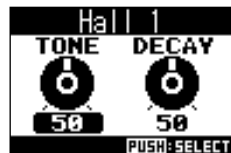
6. でチャンネルごとのかかり具合を調節する

7. EFX RTNのフェーダーで全体のかかり具合を調節する

8. で、エフェクトのパラメーターを調節する

パラメーター調節: を回す

パラメーター選択: を押す



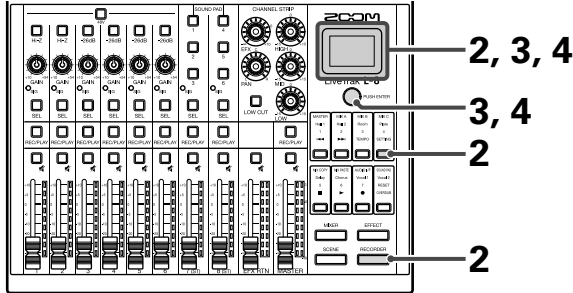
HINT

各エフェクトタイプ、 で調節できるパラメーターについては、オペレーションマニュアルを参照してください。

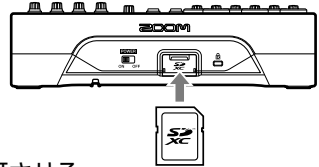
録音の準備をする

新しいプロジェクトを作成する

L-8 では録音、再生するデータをプロジェクトという単位で管理します。



1. **POWER** を OFF にした後、SD カードスロットカバーを開き、SD カードをスロットの奥まで差し込む
取り出したいときはSDカードを一度スロットの奥に押し込んでから、引き抜きます。



2. **RECORDER** を押して点灯させ、**SETTING** を押して点灯させる
ディスプレイにSETTING画面が表示されます。

3. **PROJECT > NEW PROJECT** を選択する

カーソル移動: **PUSH ENTER** を回す

確定: **PUSH ENTER** を押す

4. **PUSH ENTER** で **YES** を選択し、 **PUSH ENTER** を押す



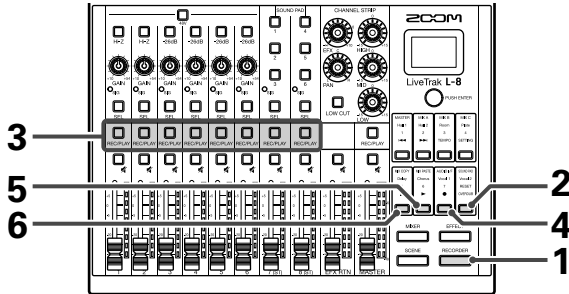
NOTE

- ・ SDカードの初期化については、オペレーションマニュアルを参照してください。
- ・ Class10以上のSDカードをご使用ください。
- ・ 96 kHzで録音する際は、録音前にSDカードを初期化してください。初期化しないで録音すると、音飛びが発生する場合があります。
- ・ 新しいプロジェクトを作成したときには、現在のミキサーの設定が新しいプロジェクトに引き継がれます。

録音（新規・上書き）／再生する

L-8 は、最大で12トラックの同時録音と、10トラックの同時再生ができるレコーダー機能を内蔵しています。各チャンネルの入力信号とマスターフェーダー通過後の信号を録音／再生することができます。

録音する



1. **RECORDER** を押して点灯させる
2. **OVERDUB** でオーバーダビングの ON/OFF を選択する
 - ・ 点灯(ON) : 現在のプロジェクトに上書きする
 - ・ 消灯(OFF) : 新しいプロジェクトを作成して録音する
3. 録音したいチャンネルの **REC/PLAY** を押して、赤色に点灯させる
4. **Record** を押して点灯させ、録音待機状態にする

HINT

現在のプロジェクトに録音済みファイルがあり、かつ **OVERDUB** がOFFの場合、**Record** を押すと新しいプロジェクトが作成され、その後録音待機状態になります。

5. **Play** を押して点灯させ、録音を開始する
6. **Stop** を押して録音を停止する

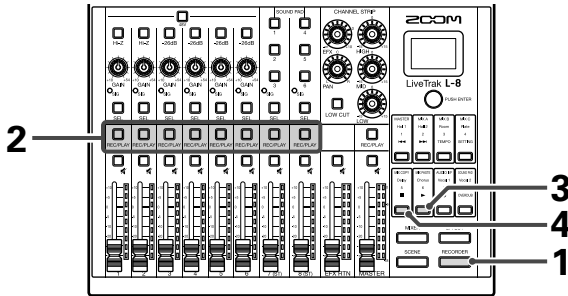
NOTE







録音が終了するとディスプレイに「Please wait」と表示されます。この表示中に電源を切ったり、SDカードを取り外さないでください。データ破損や、故障の原因になります。

HINT

パンチン/アウト、自動録音、プリ録音については、オペレーションマニュアルを参照してください。

再生する



1.  を押して点灯させる
2. 再生したいチャンネルの  を押して、緑色に点灯させる
3.  を押して再生を開始する
 - ・  点灯:再生中
 - ・  点滅:再生一時停止中
4.  を押して再生を停止する

NOTE

MASTERチャンネルの再生時には、他のチャンネルを再生することはできません。

HINT

- ・ 再生される信号はイコライザーの手前に挿入されるため、再生中に音質、定位を調整できます。
- ・ 再生モードの変更、再生プロジェクトの選択については、オペレーションマニュアルを参照してください。

機能

ミキサー	1～6チャンネルには、高品位なマイクプリアンプを搭載しています。各チャンネルには、3バンドのEQ、LOW CUT、PAN、1系統のエフェクトセンド量を設定できます。チャンネル8には、スマートフォンと接続できる端子を搭載しています。
エフェクト	1系統、8タイプのセンドリターンエフェクトが搭載されています。各エフェクトタイプごとにパラメーターを調節できます。
シーン	現在のミキサーの設定をシーンとして最大7つ保存し、保存した設定をいつでも呼び出せる機能です。ミキサー設定の初期化も行えます。
MONITOR OUT	3系統のモニターミックスを出力できるMONITOR OUTを搭載し、演奏者一人ひとりに、好みのミックスバランスを供給することが可能です。
SOUND PAD	SOUND PADはオーディオファイル(WAVフォーマット)を割り当て、押されるとそのファイルを再生するパッドです。各パッドは、レベル、再生方法を設定することができます。工場出荷時には13個のサウンドが内蔵されています。
レコーダー	各チャンネル+マスタートラックを含めた最大12トラック同時録音、10トラック同時再生のレコーダーを搭載しています。録音したデータは16/24-bit、44.1/48/96 kHzのWAVフォーマットで保存され、プロジェクトと呼ばれる単位で管理されます。レコーダーでは、下記の機能を使用できます。 <ul style="list-style-type: none">・録音(新規・上書き)／再生・マークの登録、マーク位置への移動・パンチン／アウト・ミックスダウン(マスタートラックへの録音／再生)・ある音量を超えると自動的に録音を開始する・録音開始前から時間をさかのぼって録音する
プロジェクト	プロジェクトに対して行える操作は下記のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・再生したいプロジェクトを選択する・プロジェクト名の変更・プロジェクトの削除・プロジェクトにプロテクトをかける・プロジェクト情報の確認・マークの確認、削除、マーク位置への移動
オーディオファイル	オーディオファイルに対して行える操作は下記のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・オーディオファイルの削除・各チャンネルへのオーディオファイルの割り当て
メトロノーム	音量、音色、パターンを変更できるプリカウント機能付きメトロノームを搭載しています。各出力端子に対して音量を設定できます。
オーディオインターフェイス	サンプリングレートが44.1/48 kHz時に、12in 4outのUSB オーディオインターフェイスとして使用できます。
カードリーダー	パソコンと接続して、カードリーダーとして使用できます。
設定	RECORDERキー>SETTINGキーから、レコーダー、SDカードに関する設定などを行います。
レコーダー	録音フォーマットの設定 自動録音に関する設定 録音レベルをレベルメーターに表示する レイテンシー補正の設定 再生方法に関する設定 プリ録音の設定
SDカード	空き容量の確認 初期化 カード性能をテストする
その他	日付／時刻の設定 サンプリングレートの変更 電源自動OFF機能 ディスプレイのコントラストの調整 ディスプレイのバックライト点灯時間の変更 電池に関する設定
工場出荷状態に戻す	工場出荷時の状態に設定を戻すことができます。
ファームウェア	ファームウェアのバージョンを確認し、最新バージョンにアップデートできます。

詳細は、オペレーションマニュアルを参照してください。



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
zoomcorp.com